



# 五福っ子



令和6年7月4日発行 No.6

## 盛りだくさんの土曜日 ありがとうございました

梅雨の晴れ間となった6月29日。授業参観、PTA人権教育講演会、引き渡し訓練と、午前中いっぱい、保護者や地域の方には、大変お世話になりました。

授業参観の中で、5年生は、防災士の方々による防災学習を行っていました。一週間以上前から、西校舎1階のだいごルームに防災グッズを展示してくださり、子どもたちの意識を向けてくださっていました。授業の中では、かつて起こった高梁川の氾濫のお話や防災のためのマイタイムラインづくりなど、我々の命を守るために欠かせない貴重な授業をしていただきました。



PTA人権教育講演会では、「非認知能力」の第一人者、中山芳一先生に、テンポよく軽快で子どもにも分かりやすくお話をしていただきました。「非認知能力」を、五福小の学校教育目標である『ゆたかな心』という



言葉に置き換えて話してくださったので、子どもたちや保護者の方には耳慣れた言葉で、イメージしやすかったのではないのでしょうか。お話の中で、「幸せに生きていくために必要なのが『ゆたかな心』だ」と言われ、この学校教育目標を達成していくことが、五福小の子どもたちにとって幸せな人生につながるのだと、自覚することができました。『ゆたかな心』をもっ

て、自分のためにやりたいことと誰かのためにやりたいことを『夢』として追い求めながら、自分を自分で観察（モニタリング）・操作（コントロール）し、自分で決めて進んでいくこと…それが幸せ（ウェルビーイング）につながっていくのかな…と、私なりに考えました。自分も大事、他者も大事。「なかよし」の心が大事なんですね。

講演会の後は、災害時を想定した引き渡し訓練を行いました。たくさんの皆様にご協力いただき、いざという時に安全に、そして確実にお子さんを保護者の方に引き渡す、練習の機会をもつことができました。今回の訓練の反省をもとに、よりよい引き渡しが行えるように見直していきます。ご協力、ありがとうございました。